EPSON
EXCEED YOUR VISION

Easy Interactive Tools Ver.3.0操作ガイド

Easy Interactive Tools Ver.3.0操作ガイド

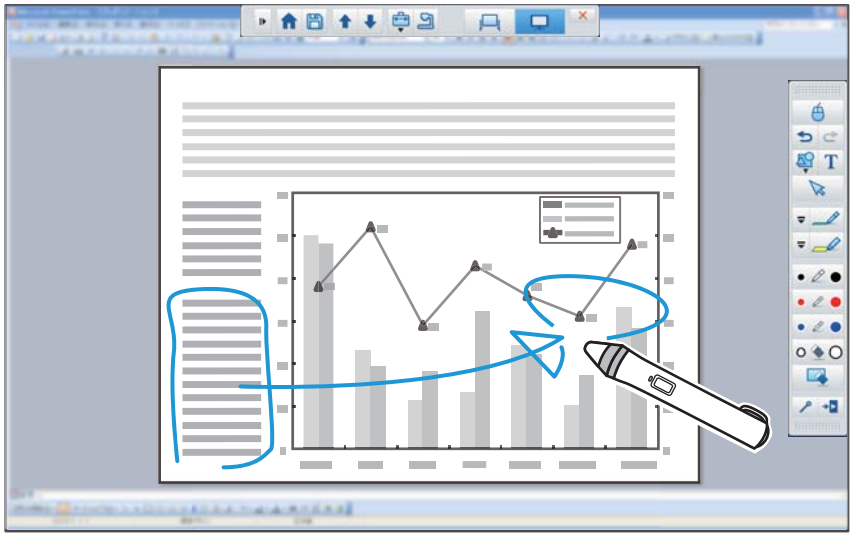
特長

Easy Interactive Toolsは、プロジェクターから投写している画面上で描画ができるアプリケーションソフトです。

プロジェクターに同梱の電子ペン(Easy Interactive Pen)を使って、次の描画機能を使用できます。

投写した資料に描画(アノテーションモード)

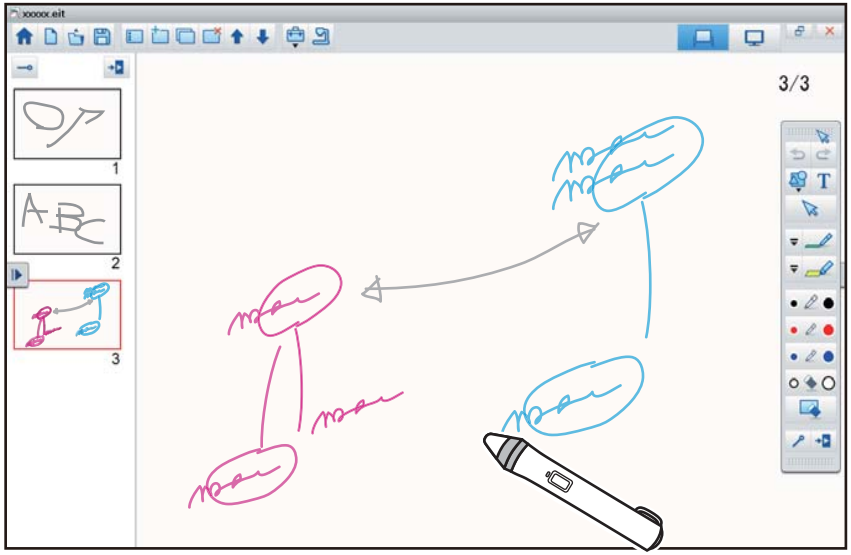
投写した資料に説明のポイントや注意事項を書き込めます。イラストや画像、図形などを使用して、効果的な授業や訴求力のあるプレゼンテーションを実現できます。



☛「アノテーションモードで描画する」p.10

無地の背景に描画(ホワイトボードモード)

無地の画面を投写して、自由に文字や絵を書き込めます。方眼紙や五線譜などの背景も選択できます。会議の記録や資料作成などに便利です。



☛「ホワイトボードモードで描画する」p.12

便利な機能

- コンピューターのマウス操作をする
  ☛「投写面からコンピューターを操作する（マウス操作）」p.11
- プロジェクターや書画カメラなど、コンピューターに接続した機器を投写面上で制御する
  ☛「ツールパネルの機能」p.16
  ☛「カメラ画面」p.18
- 投写画面に描画した内容を編集する
  ☛「図形や画像を調整、編集する」p.24

- 描画した内容をPowerPointのスライドとして保存する
  ☛「スライドショー描画ツール」p.25
- 遠隔会議に活用する

  EasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projectionを使って、コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続すると、投写画面を遠隔地と共有できます。

  Easy Interactive Toolsと同時に使用すると、複数拠点で同じ投写画面に書き込みができます。（電子ペンを使った操作や描画は、EasyMP Network Projectionのみ対応。）

  EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projectionの詳細はhttp://www.epson.jp/ をご覧ください。

動作環境

Windows

OS	Windows XP※	Professional 32ビット Home Edition 32ビット Tablet PC Edition 32ビット
	Windows Vista	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット
	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット
	Windows 8	Windows 8 32/64ビット Windows 8 Pro 32/64ビット Windows 8 Enterprise 32/64ビット
	Windows 8.1	Windows 8.1 32/64ビット Windows 8.1 Pro 32/64ビット Windows 8.1 Enterprise 32/64ビット
CPU	Intel Pentium M 1.6GHz以上 推奨：Intel Core2 Duo 1.2GHz以上	
メモリー容量	512MB以上 推奨：1GB以上	
ハードディスク空き容量	100MB以上	
ディスプレイ	XGA（1024x768）以上、WUXGA（1920x1200）以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色	

※ Service Pack 2以上

OS X

OS※	Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x
CPU	Power PC G4 1.5GHz以上 推奨：Intel Core Duo 1.5GHz以上
メモリー容量	512MB以上 推奨：1GB以上
ハードディスク空き容量	100MB以上

ディスプレイ	XGA（1024x768）以上、WUXGA（1920x1200）以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

※ QuickTime 7.7以降が必要です。

インストールの方法

- 管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。
- 起動中のアプリケーションはすべて終了してからインストールを始めてください。

Windows

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターにEPSON Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROMをセットします。
   自動でインストール画面が起動します。インストール画面が起動しないときは、CD-ROM内の**EIN_TTWInst.exe**ファイルをダブルクリックしてください。
3. 画面の指示に従って、インストールします。

OS X

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターにEPSON Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROMをセットします。
3. EPSONウィンドウでInstall Naviアイコンをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従って、インストールします。

OS Xでは、Easy Interactive Driverのインストールが必要です。おすすめインストールを選択してEasy Interactive Driverをインストールしてください。

☛プロジェクターの取扱説明書

EB-465T/EB-460T/EB-455WT/EB-450WTをお使いの場合は、Easy Interactive Driver Ver.1.XXをお使いください。

Easy Interactive Toolsの最新のバージョン、お使いのプロジェクターとの互換性については、以下のWebサイトを参照してください。
http://www.epson.jp/download/

アンインストールの方法

Windows XP

1. [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
2. [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
3. [Easy Interactive Tools Ver.X.XX]を選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7

1. [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
3. [Easy Interactive Tools Ver.X.XX]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1

1. チャームバーで［検索］を選択して、［Easy Interactive Tools Ver.X.XX］を検索します。
2. ［Easy Interactive Tools Ver.X.XX］を右クリック（長押し）して、アプリバーから［アンインストール］を選択します。
3. ［Easy Interactive Tools Ver.X.XX］を選択して、［アンインストール］を選択します。

OS X

1. ［アプリケーション］ - ［Easy Interactive Tools Ver.X.XX］の順にダブルクリックします。
2. ［Tools］フォルダー内の［Easy Interactive Tools Uninstaller］を実行します。
3. 画面の指示に従って、アンインストールしてください。

Easy Interactive Toolsを起動する

Easy Interactive Toolsを起動する前に次の準備をしてください。

> プロジェクターの設定方法や設定項目はお使いの機種によって異なります。また、ネットワーク接続に対応していない機種はネットワーク経由での接続はできません。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続する場合

- コンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。
- プロジェクターの環境設定メニューで、[拡張設定]を設定します。

コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続する場合

- コンピューターがネットワーク接続できるように、ネットワーク設定をします。
- プロジェクターがネットワーク接続できるように、無線LANユニットまたはLANケーブルを接続します。
- プロジェクターの環境設定メニューで、[ネットワーク]を設定します。
- プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、EasyMP Network ProjectionまたはEasyMP Multi PC Projectionをインストールします。
- EasyMP Network Projectionのオプション設定画面で、[一般設定]タブを選択して[インタラクティブペンを使用する]および[Easy Interactive Toolsを使用する]にチェックを付けます。
- EasyMP Multi PC Projectionを使って接続するときは、EasyMP Multi PC Projectionのオプション設定画面で、[一般設定]タブを選択して[Easy Interactive Toolsを使用する]にチェックを付けます。

1 **プロジェクターの電源を入れて、コンピューターの映像を投写します。**

2 **コンピューターで Easy Interactive Toolsを起動します。**

- **Windows XP/Windows Vista/Windows 7**：[スタート]-[プログラム]（または[すべてのプログラム]）-[EPSON Projector]-[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]の順に選択します。
- **Windows 8/Windows 8.1**：[スタート]画面または[アプリ]画面で、[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]をクリック（タップ）します。
- **OS X**：[アプリケーション]フォルダーから[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]をダブルクリックします。

Easy Interactive Toolsが起動し、ホーム画面が表示されます。

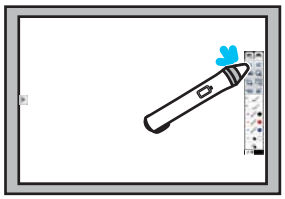
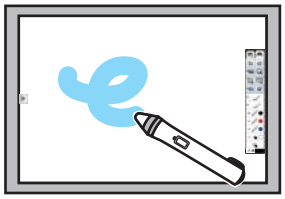
動画再生中にEasy Interactive Toolsを起動すると、動画再生画面が黒くなることがあります。動画を再生しているアプリケーションソフトを再起動してください。

電子ペン(Easy Interactive Pen)で操作する

Easy Interactive Toolsは、プロジェクターに同梱の電子ペン(Easy Interactive Pen)を使用して操作します。

電子ペンの機能や形状は電子ペンを同梱している機種によって異なります。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

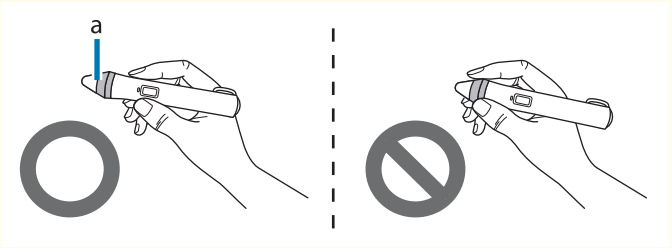
電子ペンに電池が入っていることを確認し、電源をオンにしてください。

ペン先ボタンをスクリーンに押し当てて、アイコンなどを選択します。	
スクリーンに押し当てて動かすことで、投写画面に描画します。	

- 電子ペンは2本同時に使用できます。ただし、以下のときは1本しか使用できません。
  - ・ネットワーク接続時
  - ・EB-465T/EB-460T/EB-455WT/EB-450WTを使用しているとき
- Easy Interactive Toolsは、コンピューターに接続しているマウスなど、最大6つのデバイスで同時に操作できます。OS Xを使用しているときは、最大3つのデバイスで操作可能です。
- 以下の操作は1つのデバイスのみの操作に限られます。
  - ・ホーム画面、設定画面、カメラ画面、画像挿入画面、背景選択画面の操作
  - ・図形や画像の調整、編集
  - ・メニュー操作
  - ・テキスト入力
  - ・ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときの操作

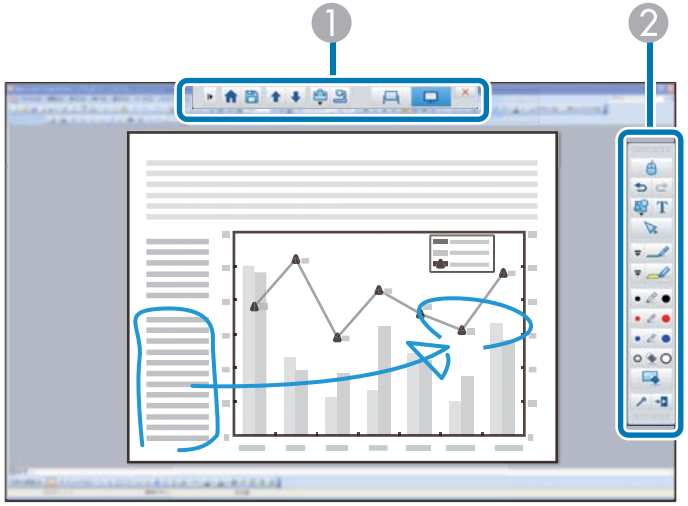
注意

電子ペンのペン先部分(a)を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。電子ペンが動作しないことがあります。



描画する

コマンドバーと描画ツールバーから、目的に応じた機能を選択して描画します。



❶ **コマンドバー**
モードの切り替えやファイルの保存、接続機器の制御や各種設定を行います。

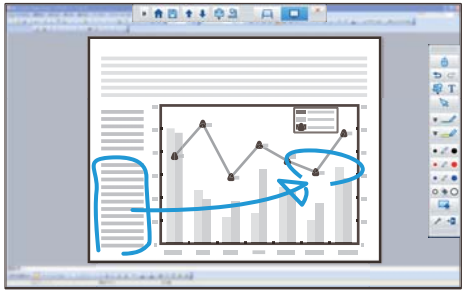
❷ **描画ツールバー**
描画するペンの太さや色、図形やテキストなどを選択して描画エリアに描画します。

2つの描画モード

Easy Interactive Toolsには2つの描画モードがあります。使用するモードを切り替えることで、以下のように画面が変わります。

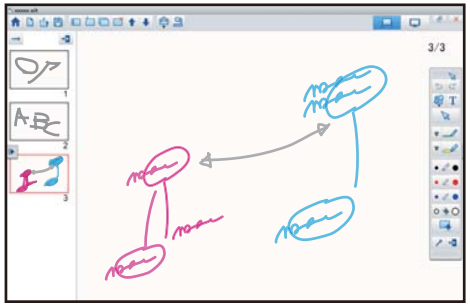
アノテーションモード

コンピューターで表示している資料に描画できます。資料の重要なポイントを強調したり補足を書き込んだりするのに便利です。
また、書画カメラからの映像に描画することもできます。



ホワイトボードモード

無地の画面を表示して描画できます。描画エリアをページとして扱うことができ、複数のページを作成して描画できます。
また、描画内容をファイルとして保存したり、過去に保存したファイルを開いたりできます。



アノテーションモードで描画する

アノテーションモードでコンピューターの画面または書画カメラで撮影している映像に描画する方法を説明します。

1 **ホーム画面で[デスクトップに描画]を選択するか、コマンドバーで【 】を選択します。**

アノテーションモードに移行し、コンピューターの画面を表示します。

書画カメラで撮影している映像に描画するときは、ホーム画面で［カメラ］を選択するか、コマンドバーで【 】を選択します。表示されたカメラ画面に、書画カメラの映像を取り込みます。

☛「カメラ画面」p.18

2 **描画ツールバーで【 】を選択します。**

3 **投写面に書き込みをします。**

ペンの色や太さを変えたいときは、【 】の横の【 】を選択して、ペンパレットを表示します。

ペンの色と太さを選択したら、【 】を選択してペンパレットを閉じます。

4 **書き込みを取り消したいときは、描画ツールバーで【 】または【 】を選択します。**

- 【 】を選択した場合：電子ペンが消しゴムとして使えます。
- 【 】を選択した場合：表示中の描画内容をすべて消します。

5 **描画内容を保存したいときは、コマンドバーで【 】を選択します。**

表示中の画面を、JPG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれかのファイル形式で保存します。

ファイルの保存先、ファイル名、ファイル形式は［設定］画面の［保存設定］タブで設定できます。

☛「保存設定タブ」p.21

異なる解像度のコンピューターでEITファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。

投写面からコンピューターを操作する（マウス操作）

アノテーションモード時に描画ツールバーで【 】を選択すると、投写面上でコンピューターの操作が可能になります（マウス操作）。

マウス操作時は、電子ペンをマウスと同じように使って、クリック、右クリック、ドラッグ&ドロップなどの操作ができます。

- クリック：投写面にペン先を押し付けてすぐ離す
- 右クリック：電子ペンの右ボタンを押す、または投写面にペン先を長く押し付けて離す
- ドラッグ&ドロップ：移動したいアイコン等の上でペン先を押し付けて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離す

- マウス操作時は、描画機能は使えません。
- 描画機能を使うときは、再度【 】を選択します。

ホワイトボードモードで描画する

ホワイトボードモードで無地のページに描画する方法を説明します。

ホワイトボードモード時は、コマンドバーからページを追加したり、ページ一覧画面を表示してページ操作をしたりできます。

1 **ホーム画面で[新規作成]を選択するか、コマンドバーで【 】を選択します。**

ホワイトボードモードに移行し、新規ページを表示します。

過去に保存したファイルを開きたいときは、ホーム画面で[開く]を選択するか、コマンドバーで【 】を選択します。

2 **描画ツールバーで【 】を選択します。**

3 **ページに書き込みをします。**

ペンの色や太さを変えたいときは、【 】の横の【 】を選択して、ペンパレットを表示します。

ペンの色と太さを選択したら、【 】を選択してペンパレットを閉じます。

4 **書き込みを取り消したいときは、描画ツールバーで【 】または【 】を選択します。**

- 【 】を選択した場合：電子ペンが消しゴムとして使えます。
- 【 】を選択した場合：表示中のページの内容をすべて消します。

5 **ページの追加/削除、複製や移動をしたいときは、コマンドバーから行います。**

ページ一覧画面にページのサムネイル画像を一覧表示します。
- サムネイル画像を選択：表示するページを切り替え
- サムネイル画像をドラッグ&ドロップ：ページの順序を入れ替え

新規ページを追加して、そのページを表示します。

表示中のページを複製します。

表示中のページを削除します。

表示中のページの1つ前のページを表示します。

表示中のページの1つ後ろのページを表示します。

6 **描画内容を保存したいときは、コマンドバーで【 】を選択します。**

ホワイトボードモードで全体表示をしているときは、【 】を選択後、[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選択します。

描画したすべてのページを、JPG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれかのファイル形式で保存します。

再編集可能な状態でファイルを保存したいときは、EIT形式を選択してください。

異なる解像度のコンピューターでEITファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。

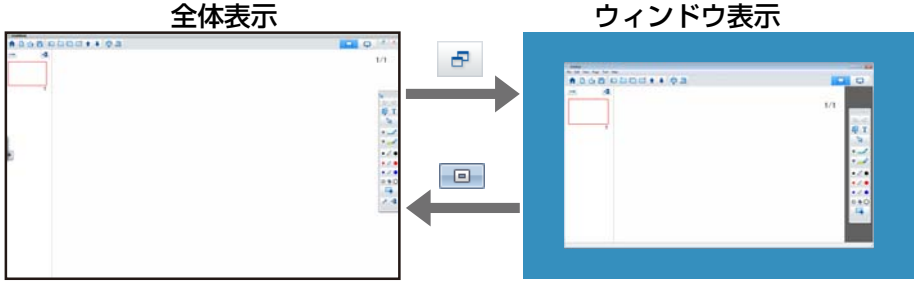
保存形式	保存単位
JPG/BMP/PNG	1ページを1ファイルとして、全ページ保存します。
PDF/EIT	全ページを1ファイルにまとめて保存します。

ファイルの保存先、ファイル名、ファイル形式は[設定]画面の[保存設定]タブで設定できます。

☛「保存設定タブ」p.21

全体表示とウィンドウ表示を切り替える

ホワイトボードモード時にコマンドバーで【 】/【 】を選択すると、描画画面の全体表示とウィンドウ表示を切り替えます。

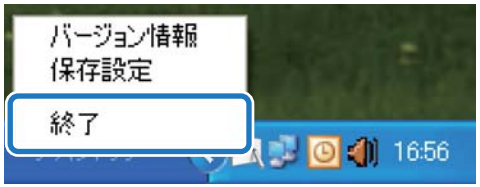


- ウィンドウ表示中は、使用できる電子ペンが1本になります。
- ウィンドウ表示中は、ウィンドウ外の操作がコンピューターのマウス操作になります。

Easy Interactive Toolsを終了する

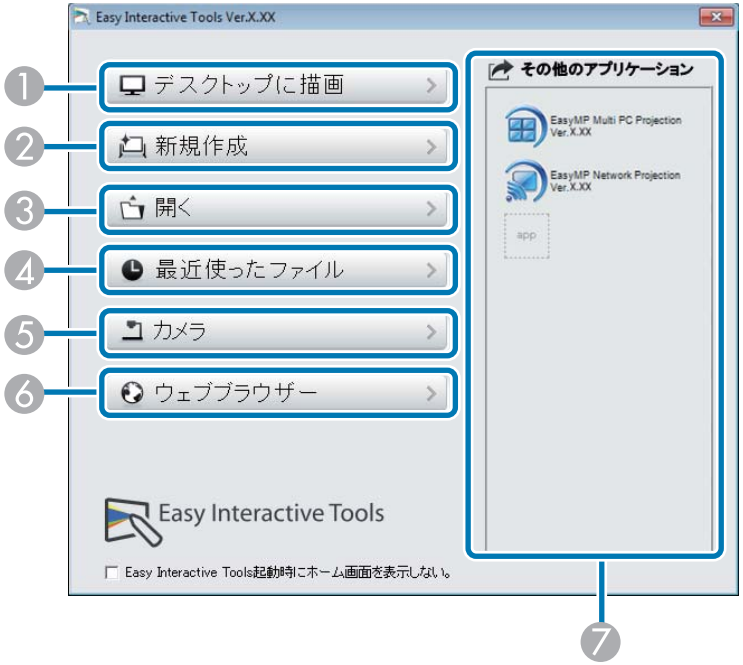
以下のいずれかの方法で、Easy Interactive Toolsを終了します。

- コマンドバーの【 】をクリックする
- **Windows**：タスクトレイメニューの【 】をクリックして、ポップアップメニューから[終了]をクリックする



- **OS X**：Dockの【 】を長押しして、ポップアップメニューから[終了]をクリックする

ホーム画面では、以下の機能を実行できます。



❶ **デスクトップに描画**

アノテーションモードに移行して、コンピューターの画面を投写します。

❷ **新規作成**

ホワイトボードモードに移行して、新規ファイルを開きます。

❸ **開く**

ホワイトボードモードに移行して、過去に保存したファイルを開きます。EITファイルまたは.avi 形式(Windowsの場合) または .mov形式(OS Xの場合)の動画ファイルを選択できます。

❹ **最近使ったファイル**

ホワイトボードモードに移行して、最近使用したファイルを開きます。EITファイルまたは.avi 形式(Windowsの場合) または .mov形式(OS Xの場合)の動画ファイルを選択できます。

❺ **カメラ**

アノテーションモードに移行して、書画カメラからの映像を投写します。

❻ **ウェブブラウザー**

アノテーションモードに移行して、コンピューターのWebブラウザを起動します。

❼ **その他のアプリケーション**

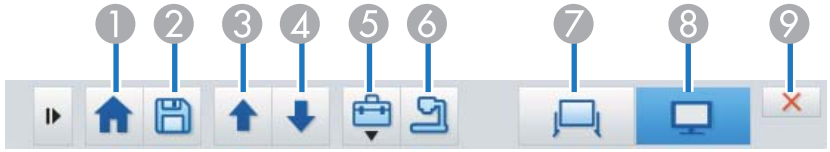
よく使用するアプリケーションのショートカットを、最大6つまで登録できます。

アプリケーションのショートカットアイコンを、空いている枠にドラッグ&ドロップするとアプリケーションが登録できます。登録したアプリケーションは、ホーム画面の外にドラッグ&ドロップすると登録解除できます。

コンピューターに EasyMP Network Projection や EasyMP Multi PC Projectionがインストールされているときは、これらのアプリケーションが自動で登録されます。これらのアプリケーションは登録解除できません。

コマンドバーでは、下記の機能を実行できます。

アノテーションモード時



ホワイトボードモード時

❶ **ホーム画面**

ホーム画面を表示します。

❷ **保存**

表示中の画面を、JPEG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれかの形式で保存します。ホワイトボードモード時は、すべてのページが保存されます。PDFまたはEIT形式で保存すると、すべてのページを1ファイルにして保存します。

ホワイトボードモードで全体表示をしているときは、【 】を選択後、［上書き保存］または［名前を付けて保存］を選択します。

保存先は、［設定］画面の［保存設定］タブで変更できます。描画内容を再編集可能な状態で保存するときは、EIT形式で保存してください。

異なる解像度のコンピューターでEITファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。

☛「保存設定タブ」p.21

❸ **ページアップ**

アノテーションモード時：選択中の文書を上方向にスクロールします。

ホワイトボードモード時：表示中のページの、1つ前のページを表示します。

❹ **ページダウン**

アノテーションモード時：選択中の文書を下方向にスクロールします。

ホワイトボードモード時：表示中のページの、1つ後ろのページを表示します。

❺ **その他のツール**

ツールパネルを表示します。

☛「ツールパネルの機能」p.16

❻ **カメラ**

コンピューターに接続されている書画カメラからの映像を表示します。カメラ画面の使い方は下記をご覧ください。

☛「カメラ画面」p.18

※エプソン製の書画カメラに対応しています。対応書画カメラについては、お使いのプロジェクターの取扱説明書に記載されているお問い合わせ先にご確認ください。

❼ **ホワイトボードモード**

ホワイトボードモードに移行します。

❽ **アノテーションモード**

アノテーションモードに移行します。

❾ **終了**

Easy Interactive Toolsを終了します。

アノテーションモード時に【 】をクリックすると、コマンドバーのサイズを変更できます。

下記はホワイトボードモード時のみ使用できます。

⑩ **新規作成**
新規ファイルを作成します。

⑪ **開く**
過去に保存したEITファイルまたは.avi 形式(Windowsの場合)または .mov形式(OS Xの場合)の動画ファイルを開きます。

⑫ **ページ一覧**
ページ一覧画面を表示します。
ページ一覧から電子ペンを離すと、画面の右端または左端に自動で最小化されます。最小化した部分に電子ペンを移動するとページ一覧が再表示されます。
【 】を選択すると、【 】に変わり、ページ一覧は固定されます。
【✕】を選択するとページ一覧が閉じます。

⑬ **新規ページ**
表示中のページの後ろに新しいページを追加します。

⑭ **ページ複製**
表示中のページを複製して、表示中のページの後ろに追加します。

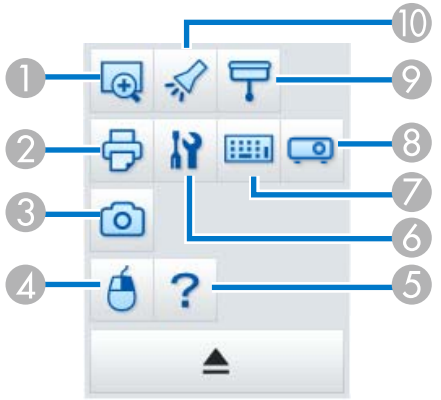
⑮ **ページ削除**
表示中のページを削除します。

⑯ **ウィンドウ表示**
描画画面の全体表示とウィンドウ表示を切り替えます。

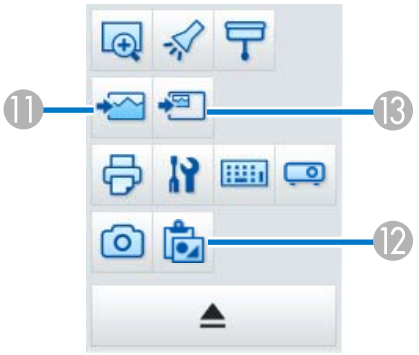
ツールパネルの機能

コマンドバーで【 】を選択したときは、下記のパネルが表示されます。

アノテーションモード時



ホワイトボードモード時



❶ **領域拡大**
十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像が拡大表示されます。

❷ **印刷**
表示中の画面を印刷します。ホワイトボードモード時は、すべてのページが印刷されます。また、印刷設定画面で印刷対象のページを選択することもできます。

❸ **キャプチャー**
表示中の画面をキャプチャーし、クリップボードにコピーします。クリップボードにコピーできるデータは1つです。

> ホワイトボードモードでウインドウ表示をしているときは、ウィンドウ枠の外に描かれた注釈はコピーされません。

❹ **右クリック**
(アノテーションモードでマウス操作時のみ使用可能)
ペンでのクリックが1回だけ右クリックとして機能します。その後は通常のクリックに戻ります。

❺ **ヘルプ**
(アノテーションモードでマウス操作時のみ使用可能)
ヘルプを表示します。

⑥

設定

設定画面を開きます。

☛「設定画面」p.19

⑦

入力パネル

画面上に仮想キーボードを表示します。仮想キーボードのキーを選択することで、キーボードから文字の入力やコンピューターの制御ができます。

⑧

プロジェクター制御

下記のボタンを選択して、プロジェクターを制御します。
コンピューターとネットワーク接続しているプロジェクターを制御するときは、［設定］画面の［プロジェクター設定］タブでプロジェクターのネットワーク情報を設定します。

☛「プロジェクター設定タブ」p.22

- 【 】：コンピューター入力端子に接続している機器からの映像に切り替えます。
- 【 】：ビデオ入力端子に接続している機器からの映像に切り替えます。
- 【 】：ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
- 【 】：USB-A端子に接続している機器からの映像に切り替えます。
- 【 】：USB-B端子に接続しているコンピューターからの映像に切り替えます。
- 【 】：投写中の映像を一時停止/解除します。
- 【 】：投写中の映像と音声を一時的に遮断/解除します。
- 【 】：プロジェクターから出力する音声を大きくします。
- 【 】：プロジェクターから出力する音声を小さくします。

⑨

シェード

投写画面をシェードで覆い隠します。4辺をドラッグすると、シェード範囲を変更できます。

【×】をクリックするとシェードが終了します。

⑩ **スポットライト**

スポットライトの効果を使って、投写画面の内容を強調します。スポットライトの枠をドラッグすると、表示範囲を変更できます。

【×】をクリックするとスポットライトが終了します。

スポットライトの形状は、［設定］画面の［一般設定］タブで変更できます。

下記はホワイトボードモード時のみ使用できます。

⑪ **背景選択**

あらかじめ用意された9種類の背景パターンからページの背景を選択できます。

また、現在のデスクトップ画面の静止画、画像ファイル、書画カメラの映像からも背景を選択できます。

⑫ **貼り付け**

クリップボードにコピーされたデータを表示中のページに貼り付けます。

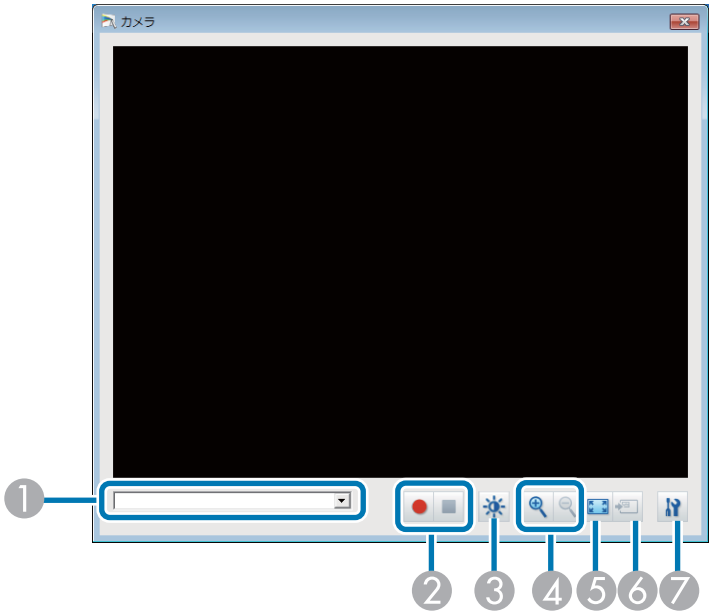
⑬ **画像挿入**

表示中のページに読み込む画像を選択します。選択できるファイル形式はJPG、BMP、PNGです。

カメラ画面

コマンドバーで【 】を選択したときは、カメラ画面が表示されます。

カメラ画面では、コンピューターに接続されている書画カメラの映像を表示します。映像のサイズや明るさなどの調整を行い、画像ファイルまたは動画ファイルとして保存できます。



❶ **書画カメラの選択**

コンピューターに接続されている書画カメラがリスト表示されます。リストからカメラ画面に投写する書画カメラを選択します。

❷ **録画**

- 【●】：書画カメラの映像を録画します。録画された映像は.avi形式（Windowsの場合）/ .mov形式（OS Xの場合）で保存されます。
- 【■】：録画を停止します。

録画映像の保存先は、［設定］画面の［カメラ録画設定］タブで設定します。

☛「カメラ録画設定タブ」p.21

※音声は録音されません。

❸ **明るさ/コントラスト**

- 【 】：映像の明るさを調整します。明度を上げたいときはスライダーを右側へ、明度を下げたいときはスライダーを左側へスライドさせます。
- 【 】：映像のコントラストを調整します。コントラストを上げたいときはスライダーを右側へ、コントラストを下げたいときはスライダーを左側へスライドさせます。
- 初期化：明るさ/コントラストを初期値に戻します。

※接続している書画カメラが明るさ調整/コントラスト調整機能を搭載していないときは使用できません。

❹ **拡大/縮小**

- 【 】：映像を拡大します。
- 【 】：映像を縮小します。

❺ **全画面表示**

カメラ画面を全画面表示とウィンドウ表示に切り替えます。

❻ **取り込み**

書画カメラの映像を画像ファイルとして取り込みます。取り込んだ画像はホワイトボードモードのページに貼り付けられます。

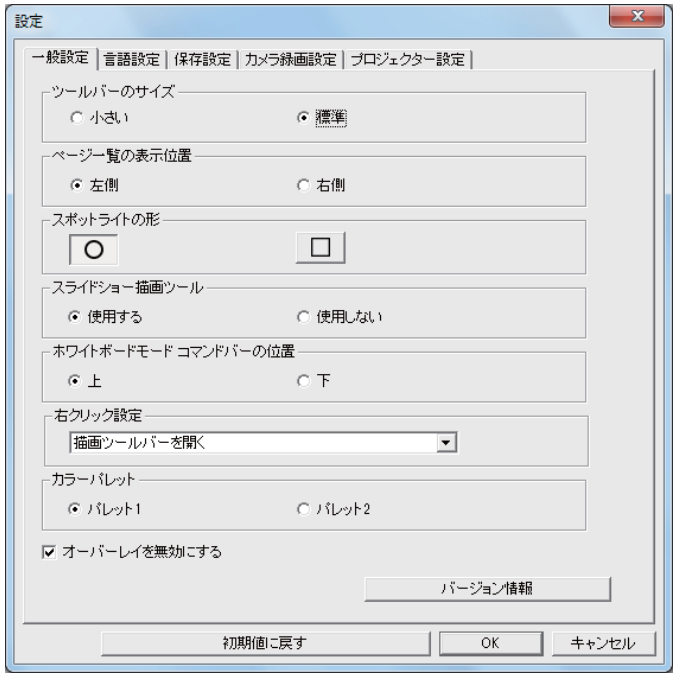
❼ **設定**

[設定]画面の[カメラ録画設定]タブを開きます。

設定画面

コマンドバーで【 】-【 】の順に選択すると、[設定]画面が表示されます。

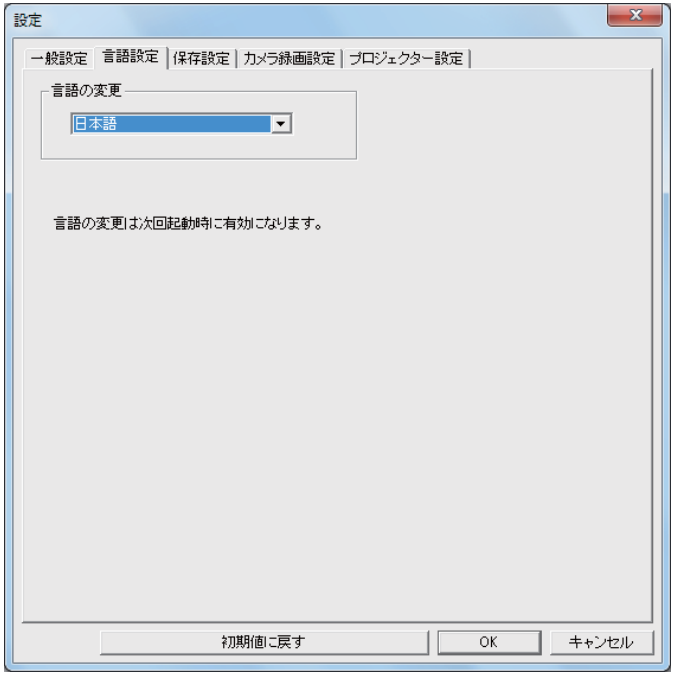
一般設定タブ



ツールバーのサイズ	ツールバーのサイズを[小さい]または[標準]に設定します。
ページ一覧の表示位置	ホワイトボードモード時にページ一覧を表示する位置を設定します。
スポットライトの形	スポットライトの形状を丸か四角に設定します。
スライドショー描画ツール	PowerPointスライドを投写時、スライドショー専用の描画ツールバーを使用するかを選択します。 ☛「スライドショー描画ツール」p.25
ホワイトボードモードコマンドバーの位置	コマンドバーを表示する位置を設定します。

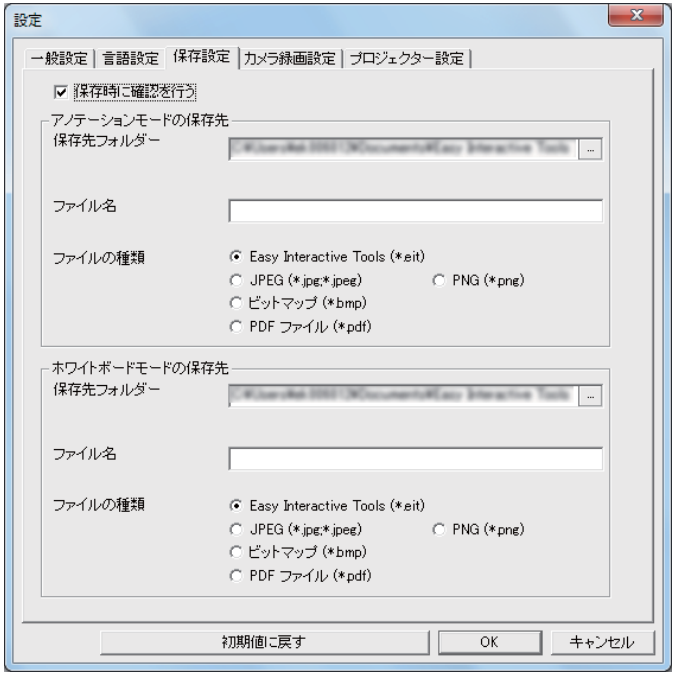
右クリック設定	描画エリアで右クリックしたときの動作を設定します。 • ［描画ツールバーを開く］：右クリックした位置に描画ツールバーを表示します。 • ［マウスモードに切り替え］：描画機能からマウス操作機能へ切り替えます（アノテーションモード時のみ）。 • ［ペンと消しゴムを切り替え］：描画機能と消しゴム機能を交互に切り替えます。 • ［オフ］：右クリックしても何も起こりません。
カラーパレット	［パレット2］を選択すると、色弱の方にも見やすい配色のパレットに変わります。初期設定のパレットの色が見えにくい方は、［パレット2］をお試しください。
オーバーレイを無効にする	（Windows XPをお使いの場合のみ） チェックすると、動画に描画したときの画面保存時に、動画の内容も表示した状態で保存されます。

言語設定タブ（Windowsのみ）



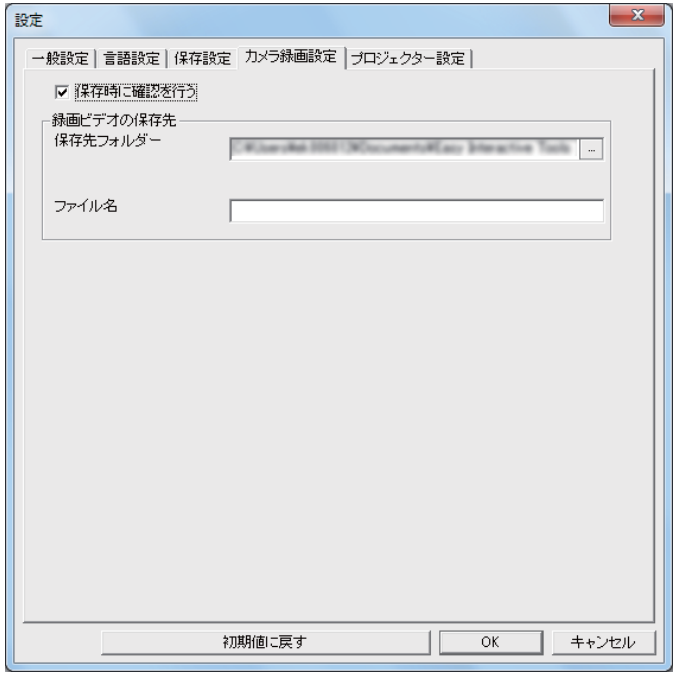
言語の変更	Easy Interactive Toolsの表示言語を設定します。設定はEasy Interactive Toolsの再起動後に有効になります。

保存設定タブ



保存時に確認を行う	チェックを入れると、画面の保存時に保存先/ファイル名/ファイル形式を設定する画面を表示します。
保存先フォルダー	画面の保存先フォルダーを設定します。 画面の保存先フォルダーの初期設定は以下です。 **Windows XP** <起動ドライブ>:\Documents and Settings\<ユーザー名>\My Documents\Easy Interactive Tools **Windows Vista/Windows 7/Windows 8** <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools **OS X** <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools
ファイル名	保存するファイル名を設定します。32文字まで入力できます。(「\/:*?" <>|」は使用できません。) ファイルの保存時、ファイル名の末尾に、数字と拡張子が自動で追加されます。 例：AAA0001.jpg
ファイルの種類	保存するファイル形式を設定します。

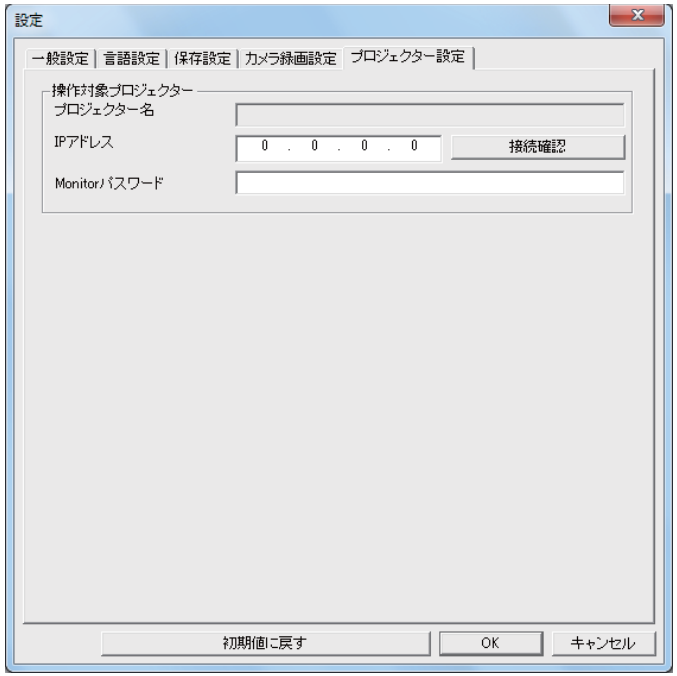
カメラ録画設定タブ



保存時に確認を行う	チェックを入れると、動画の保存時に保存先/ファイル名を設定する画面を表示します。

保存先フォルダー	動画の保存先フォルダーを設定します。 動画の保存先フォルダーの初期設定は以下です。 **Windows XP** <起動ドライブ>:\Documents and Settings\<ユーザー名>\My Documents\Easy Interactive Tools **Windows Vista/Windows 7/Windows 8** <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools **OS X** <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools
ファイル名	保存するファイル名を設定します。32文字まで入力できます。(「\/:*?" <>|」は使用できません。) ファイルの保存時、ファイル名の末尾に、数字と拡張子が自動で追加されます。 例：AAA0001.avi

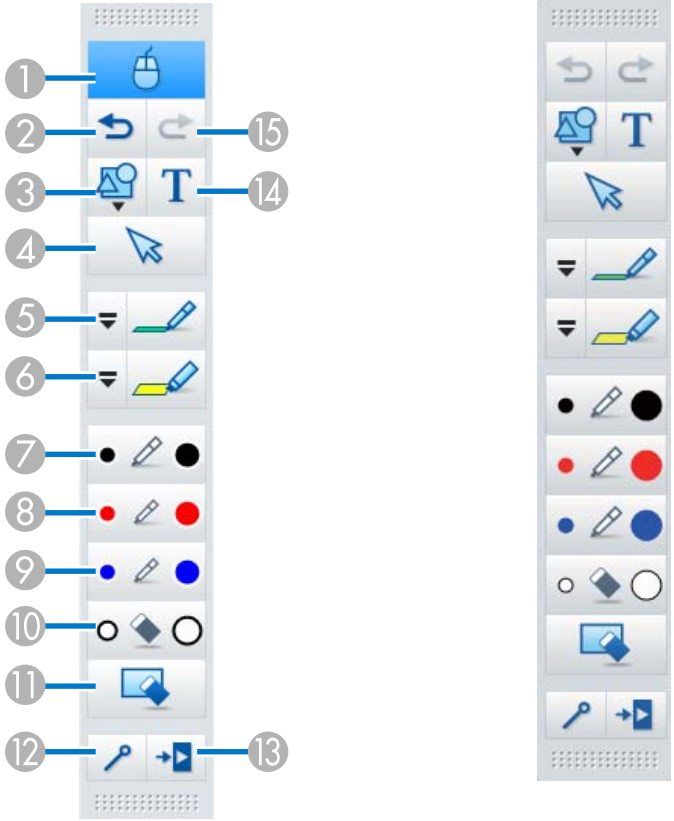
プロジェクター設定タブ



プロジェクター名	操作対象に指定したプロジェクター名を表示します(表示のみ)。
IPアドレス	ネットワークに接続しているプロジェクターの中から、Easy Interactive Toolsで制御するプロジェクターのIPアドレスを指定します。 [接続確認]ボタンを選択すると、指定したプロジェクターと接続します。
Monitorパスワード	プロジェクターに設定されているMonitorパスワードを入力します。半角英数字で16文字まで入力できます。パスワードが正しくないときは、プロジェクターに接続できません。

描画ツールバーでは、下記の機能を選択できます。

アノテーションモード　　ホワイトボードモード



❶

マウス

（アノテーションモード時のみ使用可能）

描画操作から、マウス操作に切り替わり、コンピューター画面のカーソルが通常のマウスカーソルになります。このとき、Easy Interactive Penを使って、投写画面上でクリックやドラッグ操作ができます。

再度このアイコンをクリックすると、描画操作に戻ります。

❷

元に戻す

1つ前の操作を元に戻します。

❸

図形

あらかじめ用意された図形の中から、使用したい図形を選べます。図形の色と線の太さも選択できます。

❹

選択

描画した内容や挿入した画像を選択して、移動やサイズ調整等の操作ができます。

❺

ペン

フリーハンドで描けるペンに切り替わります。アイコンの左端にある【 】をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。

❻

蛍光ペン

半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。アイコンの左端にある【 】をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。

❼

黒ペン

フリーハンドで描ける黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。

❽

赤ペン

フリーハンドで描ける赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。

❾

青ペン

フリーハンドで描ける青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。

❿

消しゴム

消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。

⓫ **画面クリア**
表示中のページで描画した内容をすべて消去します。

⓬ **ツールバーを固定**
（ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときは使用不可）
描画ツールバーを常に表示します。

⓭ **閉じる**
（ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときは使用不可）
描画ツールバーを閉じます。アノテーションモード時はコマンドバーも非表示にします。
描画ツールバーを再度表示するには、画面の左右にある描画ツールバータブ【 】を選択します。

⓮ **テキスト入力**
テキスト入力に切り替わります。描画領域を選択すると、テキストボックスが表示されます。

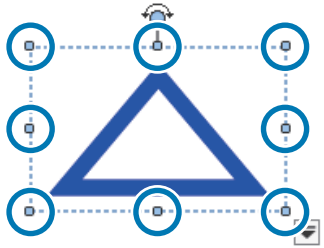
⓯ **やり直し**
元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。

図形や画像を調整、編集する

描画した図や線、挿入した画像を調整、編集できます。

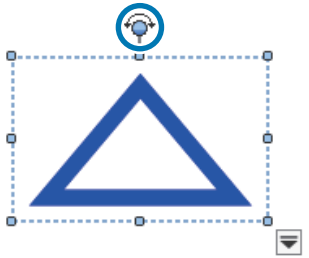
- 拡大、縮小

  描画ツールバーの【 】を選択し、オブジェクトを選択して拡大・縮小ハンドルをドラックします。



- 回転

  描画ツールバーの【 】を選択し、オブジェクトを選択して回転ハンドルを操作します。



描画ツールバーの【 】を選択し、オブジェクトを選択して【 】を選択すると、サブメニューから下記の操作ができます。

複製	選択したオブジェクトと同じオブジェクトを作成し、複製元の右下に貼り付けます。複数のオブジェクトを選択可能です。
コピー	選択したオブジェクトをクリップボードへコピーします。複数のオブジェクトを選択可能です。

貼り付け	コピーしたオブジェクトを貼り付けます。
編集	選択したテキストを編集します。
グループ化	選択した複数のオブジェクトを1つのオブジェクトにグループ化します。
グループ解除	選択したオブジェクトがグループ化されている場合、グループ化を解除します。
最前面へ移動 最背面へ移動 前面へ移動 背面へ移動	選択したオブジェクトの重なり順を変更します。複数のオブジェクトを選択可能です。
削除	選択したオブジェクトを削除します。複数のオブジェクトを選択可能です。

【ctrl】+【A】キーなど、コンピューターのキーボードを使ってのショートカットキー操作には対応していません。

スライドショー描画ツール

PowerPointのスライドショーを開始すると、描画ツールバーは以下のように切り替わり、PowerPointの描画ツールを使えます。

Windows

OS X

Windowsをお使いの場合は、描画した内容をPowerPointスライドとしてそのまま保存することができます。

OS Xの場合は描画のみ可能です。

- PowerPointのスライドショーを開始する前に、Easy Interactive Toolsを起動しておいてください。
- PowerPoint描画ツールを使用するか、使用しないかの設定は**一般設定**タブで設定できます。
☛「一般設定タブ」p.19

以下のPowerPointのバージョンに対応しています。

Windows	Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013
OS X	Microsoft PowerPoint 2008/2011

問題	対処法
言語の変更後、文字化けする	お使いの環境にその言語のフォントがないと文字化けが発生します。 設定画面の［初期値に戻す］で初期設定に戻してください。 ☛「設定画面」p.19
動画を含む画面を保存すると、動画部分が黒く表示される（Windows XPのみ） Media Playerの映像上に描画した線がちらつく Media Playerの映像上に蛍光ペンで描画した線が半透明にならない（Windows XPのみ）	ビデオアクセラレーターの設定を手動で変更してください。 (1) ［スタート］-［コントロール パネル］-［画面］-［設定］を選択し、［詳細設定］ボタンをクリックします。 (2) ［トラブルシューティング］を選択します。 (3) ［ハードウェア アクセラレータ］を左から2つ目の位置に移動します。 設定を変更すると、一部のDVD/ブルーレイディスクの動画再生画面が表示されないことがあります。また、設定の変更が他のアプリケーションに影響する場合があります。 Easy Interactive Toolsの終了時に、ビデオアクセラレーターの設定を元に戻してください。
2人でペンを使用しているとき、1人が操作できなくなる	以下の操作中は、電子ペンを操作できるのは1人です。 • マウス操作時およびホワイトボードモードでウィンドウ表示中 • ホーム画面、設定画面、カメラ画面、画像挿入画面、背景選択画面の操作中 • 図形や画像の調整、編集中 • メニュー操作中 • テキスト入力中
Keynoteに描画できない	OS XではKeynoteに描画できません。
領域拡大で正しく表示できない	以下の制限があります。 • Microsoft DirectXの機能を使っているアプリケーションは、領域拡大で正しく表示できないことがあります。（Windows Vistaのみ） • DVDプレーヤーの映像は、領域拡大で正しく表示できません。（OS X 10.7.xのみ）
Media Playerの映像の画面保存や印刷ができない	以下の制限があります。 • Microsoft DirectXの機能を使っているアプリケーションの映像は、正しく画面を保存・印刷できないことがあります。 • DVDプレーヤーの映像は、正しく画面を保存・印刷できません。（OS X 10.7.xのみ）
EITファイルを開いたときに描画が正しく読み込めない	• 異なる解像度のコンピューターでEITファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。EITファイルを作成したときと同じ解像度のコンピューターでEITファイルを開いてください。 • EITファイルが壊れている可能性があります。読み込めなかった描画は再度作成してください。
録画した映像が正しく表示できない	• Windowsで録画したファイルはWindows Media Playerで再生してください。 • OS Xで録画したファイルはQuickTime Player 7.7以上で再生してください。 ※音声は録音されません。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

Microsoft® Windows® XP operating system
Microsoft® Windows Vista® operating system
Microsoft® Windows® 7 operating system
Microsoft® Windows® 8 operating system
Microsoft® Windows® 8.1 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows XP/Vista/7のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.5.x
Mac OS X 10.6.x
OS X 10.7.x
OS X 10.8.x
OS X 10.9.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「OS X」と表記します。

商標について：

Keynote、Mac、Mac OS、OS XはApple Inc.の登録商標です。

Microsoft、DirectX、Microsoft Office、PowerPoint、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

Open Source Software License

zlib

This projector product includes the open source software program "zlib" which applies the terms and conditions provided by owner of the copyright to the "zlib".

The "zlib" are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

List of zlib programs

zlib-1.2.8

License terms of conditions of each program which are provided by owner of the copyright to the “zlib” are as follows.

Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

©SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

412560701JA